

参加会社各位

2023年9月7日  
不動産信用保証株式会社



不動産信用保証とデジタルガレージ  
電子保証証書の交付における連携の基本契約を締結  
今秋リリースに向けて共同開発

不動産信用保証株式会社と株式会社デジタルガレージ（以下、「デジタルガレージ」）は、手付金等保証システム（以下「FIPS」（フィップス））と不動産契約業務支援サービス（以下「Musubell」（ムスベル））を連携することで、宅地建物取引業法に基づく手付金等保全措置において交付する電子保証証書の作成と交付をMusubell内で完結できるサービスの開発・提供について、基本契約を締結しました。リリースは今秋を目標にしています。

本取り組みは、連携することで、電子保証証書の作成に必要な契約情報の登録と作成した文書の格納をMusubell内で完結できることにより、従来からFIPSが提供していた電子保証証書の交付における課題を克服し、当社の手付金等保証を利用する参加会社の契約業務のDX化を加速するものであり、不動産の買主にとっても契約書類を一元管理できるメリットのあるものとなっております。

【本連携の主なメリット】

<不動産会社>

- ・ Musubellを利用している参加会社は、FIPSにログインすることなく電子保証証書の生成及びアップロードが可能
- ・ FIPSとMusubellへの情報（売買契約情報、保証契約情報）の二重登録による手間を解消
- ・ 電子保証証書交付による書面交付時における印刷等の事務コストの削減

<買主>

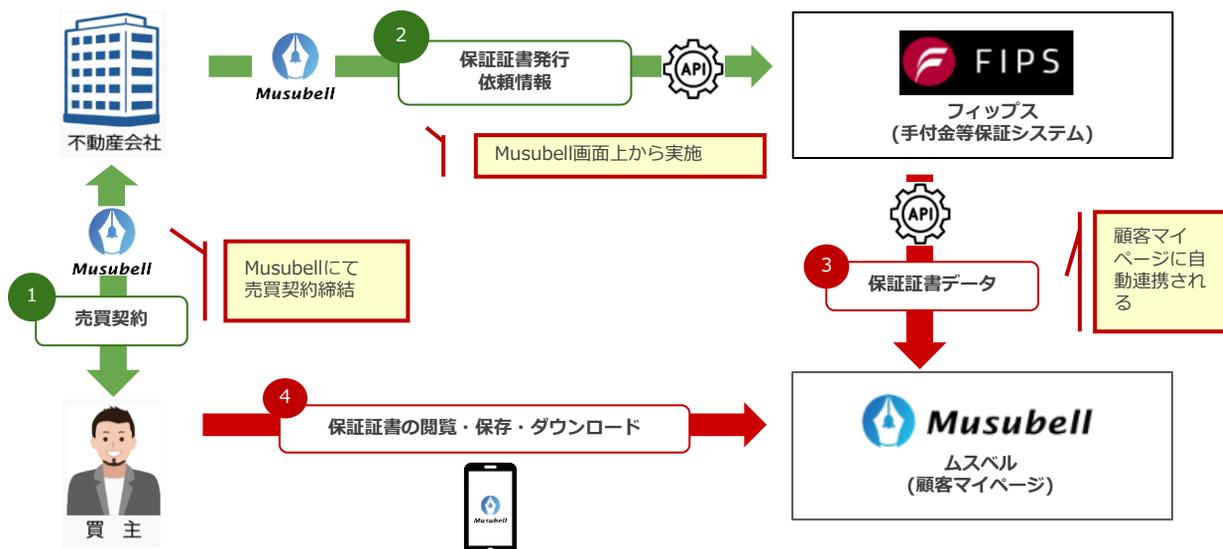
- ・ 電子交付された契約書類を不動産契約支援サービスにて一元管理可能

本連携の概要

不動産会社は、Musubell上の管理画面から、APIを通じてFIPSに電子保証証書の発行依頼（解除・取消を含む）を行うことができます。

買主は、Musubellの顧客マイページから、電子保証証書を閲覧・ダウンロードすることができます。（※）

<イメージ図>



(※)電子交付のみ対応。電子交付には法令により買主の事前承諾が必須となります。

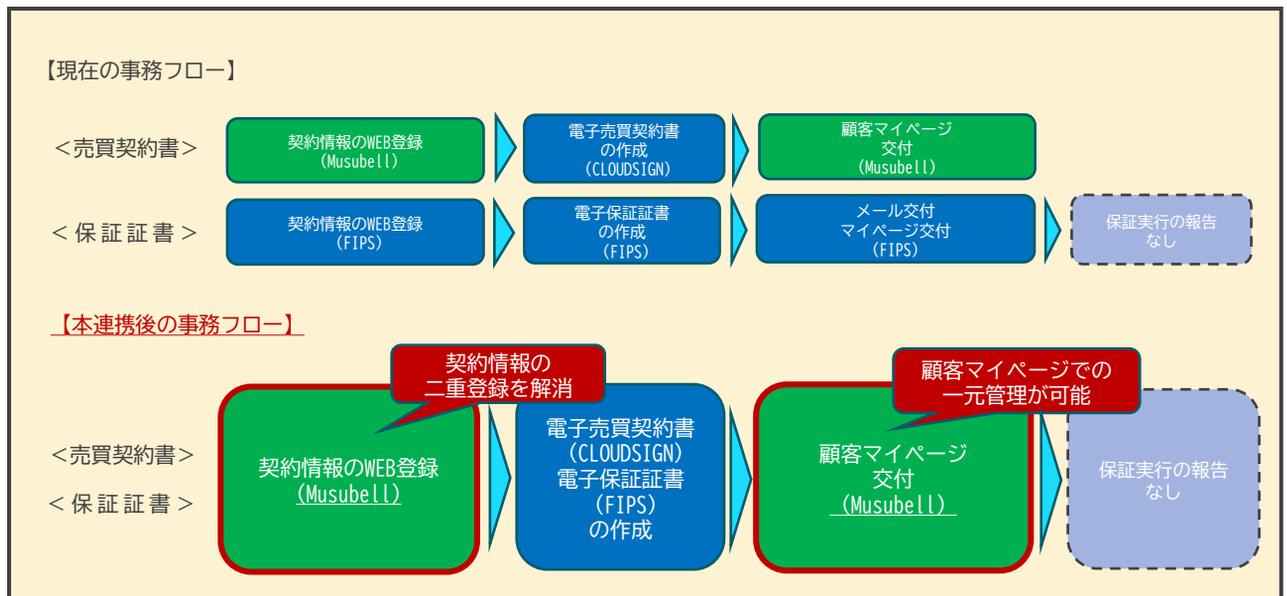
## ■当社の保証証書のシステム化の取り組み

- FIPSは、2022年6月に保証証書のWEB上での自動作成機能（書面交付のみ対応）を実装し、同年8月には電子交付機能を実装いたしました。
- 自動作成機能の実装は、保証証書の現物郵送で事務コストとして指摘されていた手書作成・書面管理・交付後の報告などの省略を可能にし、事務コストの大幅な削減を実現したことで、ご利用いただいております多くの参加会社様よりご好評をいただいております。（※）  
（※）2023年度に交付された保証証書の約34%が自動作成機能によるものです。（2023年7月末現在）



## ■本API連携により電子保証証書の交付業務のスマート化を実現、不動産売買のDX化を加速

- 他方、電子保証証書の交付機能につきましては、電子不動産売買契約書に合わせて電子文書での一元管理できるメリットはあるものの、「売買契約書の作成はMusubell」、「保証証書の作成はFIPS」という別のWEBサービスを利用していることから生じる契約情報の二重登録や情報セキュリティ対策のための送付先の二重確認など事務負担が課題とされておりました。  
そこで、Musubellと連携することで、Musubell内で契約情報を登録するだけで電子売買契約書と電子保証証書を作成でき、かつ、両書をMusubellの顧客マイページに自動格納することで、上記課題を克服いたします。



## ■最後に

- FIPSは、2018年8月のサービス提供開始以来、多くの参加会社に受け入れていただき、現在、当社の手付金等保証をご利用いただいている会社の約70%（残高ベースでは94%）で採用されております。（2023年7月末現在）  
今後も不動産会社と買主の皆様のため、必要に応じて、不動産契約業務支援サービス提供会社との連携を検討してまいります。